

## 宜野湾高校の生徒達へ（４８）

2020.10.9

今回は、1・2年生で行われている「総合的な探究の時間」(総探)について取り上げる。

9月30日、「総探」の取組状況を確認するため各HRを回った。今回は「プロジェクトテーマ探し～興味・関心、地域での学び方、取組状況を深掘る～」であった。前回(9/9)も各HRを回ったが、しっかり取り組んでいる生徒とそうでない生徒との差を感じた。今回(9/30)、各HRを回っても同じような感想を持った。

そもそも、「総探」は何のためにやるのだろうか？ それを今一度、確認したい。6月4日に行われた「総探オリエンテーション」の説明をもとに整理してみよう！

私が、「総探」で大事だと思うのは、次の3点。

### ①「自走」できる ②「生徒の興味・関心に基づく」 ③ テーマを「地域」「SDGs」と関連付ける

まず、①「自走」について。「自走」とは、自分で走る(取り組む)ことができること。「自分で走る」ためには、走るという気持ち(意志)が必要だ。気持ちがないと走れたとしても、いい加減な走りとなる。いい走りをする原動力が「興味・関心」である。自分の「興味・関心」を明確にすることで、「自走」につなげることができる。「自走」の段階に達している生徒が増えれば、宜野湾高校は確実に進化する。

②「生徒の興味・関心」は「自走」のエンジンだ。自分の「興味・関心」が明確になっている生徒は、教師に指示されなくても自分で動くことができ、テーマが「地域」「SDGs」とどう関連するかという段階に進むことができる。

まだ自分の「興味・関心」がはっきりしない生徒は、少し焦ったほうがいい。というのも、高校卒業後の進路を決めていく際の重要ポイントが、あなたの「興味・関心」なのだから。言い方を変えるならば、今、「総探」に熱心に取り組んでいる人は、確実に進路選択について進んでいる。逆に、「総探」の時間に関係のないおしゃべりをしたり、集中していない生徒は進路選択に出遅れることになる。自分の「興味・関心」を活かした将来の見通しが持てると、やる気が出て、学校生活やこれからの人生も充実したものになる。

次に、③「テーマを『地域』『SDGs』と関連付ける」ことについて。皆さんがこの作業を行うのは、少々、面倒だ。というのも、「地域」や「SDGs」のことを知らないと自分の「興味・関心」と関連付けることができないからだ。

こんな面倒なことを、なぜやらなければならないのか？ その答えが下図にある。それをもとに「総探」に取り組む意義について考えてみよう！ それも面倒と思う生徒は、「予測困難なこれからの時代」を生き抜くことは難しい。「総探」に真剣に取り組む生徒ほど、未来を生き抜く力を身につけることができる。



ここで、「振り返り」の重要性についても述べておこう！「総探」では「振り返りの時間」がある。「振り返る」ことによって、今の自分の課題に「気づき」、課題解決の方法を「考え」、「実行」することによって、「総探」の目標である「自走」することに近づくのだ。

「振り返り」は、「総探」だけではなく、各教科、部活動等のすべての活動で重要だ。「振り返り」をしっかりやり、次の活動を行うことが、皆さんの成長につながる。

沖縄県立宜野湾高等学校長 津留一郎